

### 令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	岡谷シルクの美しいものづくり・ひとづくり夢プロジェクト
事業主体 (連絡先)	岡谷市産業振興部ブランド推進室 岡谷蚕糸博物館 岡谷市郷田1-4-8
事業区分	⑥オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興 ⑧その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,272,543円 (うち支援金: 1,749,000円)

#### 事業内容

- 企画展・ワークショップ・講演会「紫根・茜の世界 墨流し染め・手絞り染め・つづれ織り3人展」
  - 企画展: 伝統は大切にしながらも、伝統作品とは一線を画す、現代のニーズにあわせた新しい作品作りに挑戦している3人の染織作家の作品を展示。
  - ワークショップ: 伝統技術を現代の作品作りに活かすWSを開催。
    - 「染色家 寺田豊氏によるワークショップ開催」
    - 「染色家 高橋孝之氏によるワークショップ開催」
    - 「染織家 服部秀司氏によるワークショップ開催」
    - 「3人の作家による合同講演会」
- 「三沢区民農園くわくわ養蚕倶楽部」(サポート事業) ※本プロジェクトに紐づける。支給対象外。
- 「おかやシルク次世代担い手育成プログラム」(岡谷シルク推進事業連携) ※本プロジェクトと紐づけ連携を図るもので、支給対象外。
- 「養蚕体験研修(桑園管理セミナー)」(岡谷シルク推進事業連携) ※本プロジェクトと紐づけ連携を図るもので、支給対象外。

#### 事業効果

- 3人展の先生方には、岡谷の風土や宮坂製糸所の糸、岡谷の人との出会いを大切にいただき、企画展を通じ、市内で染織をしている岡谷絹工房や愛好家等との直接的なつながりにも発展し、ご指導や情報交換をいただいた。最後のトークショーでは、岡谷の印象として、高林館長や、岡谷絹工房のような、シルクに情熱を持っている方との出会いに感動し、独特の歴史をもつ岡谷のような場所から今後様々な発想や製品づくりに広がっていく気配を感じたと語られた。養蚕から製糸、製品化が一体となって成立する岡谷シルクにおいて、今回の企画は、伝統の技を活かしながらその時代にあった製品開発などの新しい展開につながる可能性と、衰退産業といわれるシルク産業の振興へ一定の効果があったものとする。
- 当企画展期間における来館者数は、対前年同期



【企画展ポスター、チラシ】

#### 【目標・ねらい】

- ①シルクの新しい可能性
- ②未来の製品づくりのヒント
- ③ 10%の来館者増
- ④ 岡谷シルク製品づくりに向けた養蚕事業の担い手育成

#### ※自己評価【A】

- 【理由】
- ・養蚕から製糸、製品化が一体となって成立する岡谷シルクにおいて、今回の企画は、伝統の技を活かしながらその時代にあった製品開発などの新しい展開につながる可能性とシルク産業の振興へ期待を持てる内容となった。
  - ・目標以上の来館者増を達成した。
  - ・三沢区民農園の養蚕事業への参加者が急増し、今後の養蚕の担い手育成に大きな手応えを感じることができた。

間比で約2割り増となり、目標値を達成した。

3. 養蚕から製品化まで一連のシステムを構築し、担い手を育てていくというのがこの夢プロジェクトの目的のひとつであるが、「おかやシルク次世代担い手育成プログラム」、「養蚕体験研修(桑園管理セミナー)」とも多くの参加人数であった。また、併せて、令和5年度から立ち上げた「三沢区民農園くわくわ養蚕倶楽部」のメンバーが加わり、三沢区民農園の養蚕事業への参加者が急増し、養蚕の担い手育成に大きな手応えを感じることができた。当夢プロジェクトをきっかけに、参加者の1割程度が、三沢区民農園の養蚕事業に参加という目標が概ね達成することができた。

### 今後の取り組み

かつて「シルク岡谷」として世界にその名を馳せ、日本の経済発展に大きな功績を残した岡谷において、この歴史や文化を次世代に伝承していくことは製糸業で発展した当市の責務であると考え、現在はこのことを活かしながら、岡谷ならではのシルク製品の開発、シルクの体験や人材育成等を官民連携で行い情報発信していく「岡谷シルク」の推進に取り組んでいる。令和6年度は、岡谷蚕糸博物館開館60周年、リニューアルオープン10周年のメモリアルイヤーであり、地域とともに新たに成長する博物館として更なる飛躍を遂げ、併せて、「岡谷シルク」のブランド力を高め、地域の活性化と人材育成に益々つなげていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある